

平成31年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年7月26日

上場会社名 **ダイソーケミックス株式会社** 上場取引所 **東**
 コード番号 **4366** URL <http://www.daitochemix.co.jp/>
 代表者(役職名) **代表取締役 執行役員社長** (氏名) **永松 真一**
 問合せ先責任者(役職名) **執行役員 管理部、QA・RC部担当** (氏名) **南 修一** (TEL) **06(6911)9310**
 四半期報告書提出予定日 **平成30年8月10日** 配当支払開始予定日 **—**
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : **無**
 四半期決算説明会開催の有無 : **無**

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第1四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	2,857	△8.6	251	△45.6	257	△43.1	223	△43.6
30年3月期第1四半期	3,125	1.7	462	23.9	452	26.4	395	28.5

(注) 包括利益 31年3月期第1四半期 211百万円(△57.7%) 30年3月期第1四半期 500百万円(100.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第1四半期	20 79	—
30年3月期第1四半期	36 83	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第1四半期	16,438	10,858	66.1
30年3月期	16,550	10,721	64.8

(参考) 自己資本 31年3月期第1四半期 10,858百万円 30年3月期 10,721百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	5 00	—	7 00	12 00
31年3月期	—	—	—	—	—
31年3月期(予想)	—	5 00	—	5 00	10 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : **無**

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	6,000	△2.3	300	△44.7	300	△45.0	300	△38.4	27 94
通期	13,000	3.9	800	△30.0	800	△31.9	750	△36.8	69 86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : **無**

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
 (注) 詳細は、添付資料P. 6「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期1Q	11,200,000株	30年3月期	11,200,000株
② 期末自己株式数	31年3月期1Q	464,255株	30年3月期	464,255株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期1Q	10,735,745株	30年3月期1Q	10,737,234株

※四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	5
第1四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(追加情報)	6
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用所得環境などの改善を背景に回復基調にあるものの、海外における貿易摩擦、国内における原材料費や人件費の上昇などの懸念材料もあり、先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況の中で当社グループは、営業活動や生産性向上に全力をあげるとともに、先端の電子材料、イメージング材料、医薬中間体の新製品開発、廃棄物処理、リサイクルの特殊技術開発などに積極的に取り組みましたが、化成品事業において電子材料、およびイメージング材料の需要が低迷したことにより、売上高は減少いたしました。

その結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は28億57百万円（前年同期比8.6%減）、経常利益は2億57百万円（前年同期比43.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億23百万円（前年同期比43.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期末の総資産は前期末比1億12百万円減の164億38百万円となりました。流動資産は前期末比42百万円減の86億27百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の増加2億84百万円、たな卸資産の増加2億99百万円、受取手形及び売掛金の減少3億85百万円、未収入金の減少2億25百万円であります。固定資産は前期末比70百万円減の78億10百万円となりました。主な要因は、減価償却等による有形固定資産および無形固定資産の減少61百万円あります。

負債合計は前期末比2億49百万円減の55億79百万円となりました。主な要因は、賞与引当金の増加1億37百万円、未払金の減少2億53百万円、長期借入金（1年内返済予定含む）の減少1億18百万円あります。

純資産は前期末比1億36百万円増の108億58百万円となりました。主な要因は、利益剰余金の増加1億48百万円あります。

これにより自己資本比率は66.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年3月期の業績予想につきましては、平成30年5月10日に発表いたしました第2四半期連結累計期間および通期の業績予想の数値から変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,209	2,493
受取手形及び売掛金	2,795	2,409
商品及び製品	904	900
仕掛品	1,562	1,621
原材料及び貯蔵品	904	1,148
未収入金	255	29
その他	38	23
流動資産合計	8,669	8,627
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,443	1,420
機械装置及び運搬具(純額)	609	576
土地	2,876	2,876
その他(純額)	347	355
有形固定資産合計	5,275	5,229
無形固定資産	285	270
投資その他の資産		
投資有価証券	1,979	1,974
その他	340	336
投資その他の資産合計	2,319	2,311
固定資産合計	7,881	7,810
資産合計	16,550	16,438
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,011	1,017
短期借入金	250	250
1年内償還予定の社債	147	147
1年内返済予定の長期借入金	986	929
未払法人税等	113	39
賞与引当金	306	443
役員賞与引当金	39	28
未払金	827	574
その他	161	251
流動負債合計	3,844	3,680
固定負債		
社債	745	714
長期借入金	1,118	1,057
退職給付に係る負債	15	12
その他	104	115
固定負債合計	1,984	1,899
負債合計	5,829	5,579

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,901	2,901
資本剰余金	4,421	4,421
利益剰余金	2,880	3,028
自己株式	△248	△248
株主資本合計	9,954	10,102
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	614	630
繰延ヘッジ損益	—	0
為替換算調整勘定	152	125
その他の包括利益累計額合計	767	755
純資産合計	10,721	10,858
負債純資産合計	16,550	16,438

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
売上高	3,125	2,857
売上原価	2,440	2,354
売上総利益	684	503
販売費及び一般管理費	222	251
営業利益	462	251
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	13	15
不動産賃貸料	4	3
持分法による投資利益	—	1
雑収入	4	6
営業外収益合計	22	27
営業外費用		
支払利息	5	5
為替差損	3	11
社債発行費	10	—
持分法による投資損失	5	—
雑損失	5	4
営業外費用合計	32	21
経常利益	452	257
税金等調整前四半期純利益	452	257
法人税等	57	34
四半期純利益	395	223
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	395	223
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	91	15
繰延ヘッジ損益	0	0
持分法適用会社に対する持分相当額	13	△27
その他の包括利益合計	105	△11
四半期包括利益	500	211
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	500	211
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		
	化成品事業	環境関連事業	計
売上高			
外部顧客への売上高	2,779	345	3,125
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	17	17
計	2,780	362	3,142
セグメント利益	406	53	459

2. 報告セグメントの利益または損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額および当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	459
セグメント間取引消去	2
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	462

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		
	化成品事業	環境関連事業	計
売上高			
外部顧客への売上高	2,476	380	2,857
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	12	12
計	2,477	392	2,869
セグメント利益	180	67	247

2. 報告セグメントの利益または損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額および当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	247
セグメント間取引消去	3
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	251

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。